

# **STAR** **ポテトディガ**

取扱説明書・部品表

製品コード

型

式

K38172

· K38173

**MPD2060 · MPD2061**

部品供給型式

**MPD2060-01**

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

---

**スター農機株式会社**





# 安全に作業するために

## 安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

### 警告ラベルについて

#### ▲危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

#### ▲警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

#### ▲注意

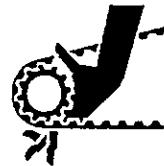
その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

#### ▲注意

本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。  
1. 作業に適した、たぶつきのない服装で行って下さい。  
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。  
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。  
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。  
5. 点検や調整をするときは、必ずPATOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。  
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。  
7. 他人に本機を貰うときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすめて下さい。

部品番号 106164

#### ▲注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171

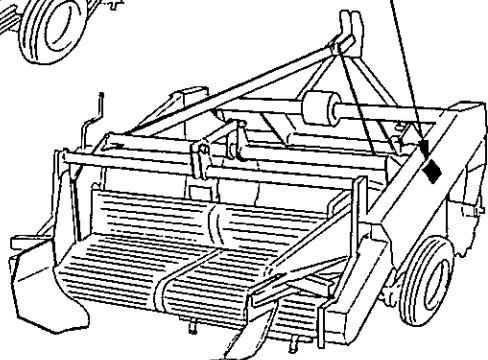
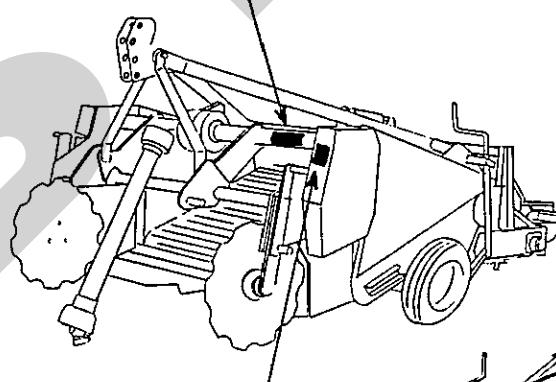
#### ▲注意



運転中又は回転中、コンベアに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。

周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106494



## — ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものであります。  
ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。  
注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

### 作業前に

#### 取扱説明書は製品に近接して保存を

##### ▲注意

●機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。

取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

#### 取扱説明書をよく読んで作業を

##### ▲注意

●取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。

作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

#### こんな時は運転しないでください

##### ▲警告

●体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

#### 服装は作業に適していますか

##### ▲警告

●作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はしまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

#### 機械を他人に貸す時は

##### ▲警告

●機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

#### 機械の改造禁止

##### ▲注意

●機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。  
アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。  
部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

#### 始業点検の励行

##### ▲注意

●始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

#### エンジン始動・発進する時は

##### ▲警告

●エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

●エンジンを始動する時、主变速レバーを「N」(中立)にして行わないと、变速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主变速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。  
PTOを切ってから始動してください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。  
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。  
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

### 作業機を着脱する時は

#### ▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人いると、挟まれてケガをする事があります。  
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

#### ▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。  
トラクタヘフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

### パワージョイントを使用する時は

#### ▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
損傷したらすぐに取り替えてください。  
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転しケガをする事があります。

PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。

- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。  
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

#### ▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。  
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きる事があり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。  
適正な重なり量で使用してください。

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。  
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

### 公道走行時は作業機の装着禁止

#### ▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。  
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

### 移動走行する時は

#### ▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。  
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

#### ▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。  
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。  
急制動・急旋回はしないでください。

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。  
低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。  
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。  
路肩は走行しないでください。
- 高低差の大きい段差を乗り越えようすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをすることがあります。  
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをすることがあります。  
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。

#### ▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。  
移動走行する時は、作業機への動力を切つてください。

## 作業中は

### 作業する時は

#### ▲危険

- 運転中又は回転中、搬送コンベアに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないで下さい。

#### ▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。

- 作業機指定のP T O回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。  
指定回転速度を守ってください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。

- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。  
低速で作業してください。  
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。  
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。  
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。  
しっかりとハンドルを握って運転してください。

#### ▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

### トラクタから離れる時は

#### ▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。

- トラクタから離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。  
下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

## 作業が終わったら

機体を清掃する時は――

### ▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行――

### ▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。  
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。  
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

## 不調処置・点検・整備をする時

### ▲注意

- 機械に不調が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。  
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬケガをする事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。  
下に入る時は、台などで降下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。



## 安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

1

## トラクタへの装着

1 各部の名称	8	4 トラクタへの装着	9
2 適応トラクタの範囲	9	5 パワージョイントの装着	9
3 組立部品	9		
1.解 槻	9		
2.組立部品の明細	9		
3.組 立	9		

2

## 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	11	2 エンジン始動での点検	11
1.トラクタ各部の点検	11	1.トラクタ油圧系統の点検	11
2.連結部の点検	11	3 給油箇所一覧表	12
(1) 3点リンクの点検	11		
(2) パワージョイントの点検	11		
(3) 製品本体の点検	11		

3

## 作業の仕方

1 本製品の使用目的	13	3 運搬	14
2 作業するための調整	13		
1. PTO回転速度と作業速度	13		
2.堀取り深さの調整	13		
3.コールタの調節	13		
4.アジテータの調節	13		
5.リヤコンペアの角度調節	14		
6.鎮圧板の調節	14		

## 4 作業が終わったら

1 トラクタからの外し方 ..... 15    2 作業後の手入れ ..... 15

## 5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 ..... 16    2 各部の調整 ..... 16  
1. コンベアの調整 ..... 16  
2. タイヤの空気圧 ..... 16

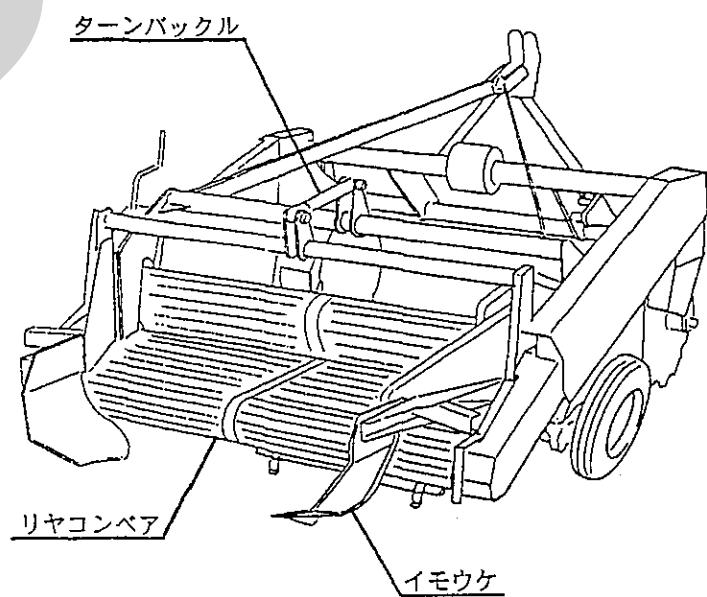
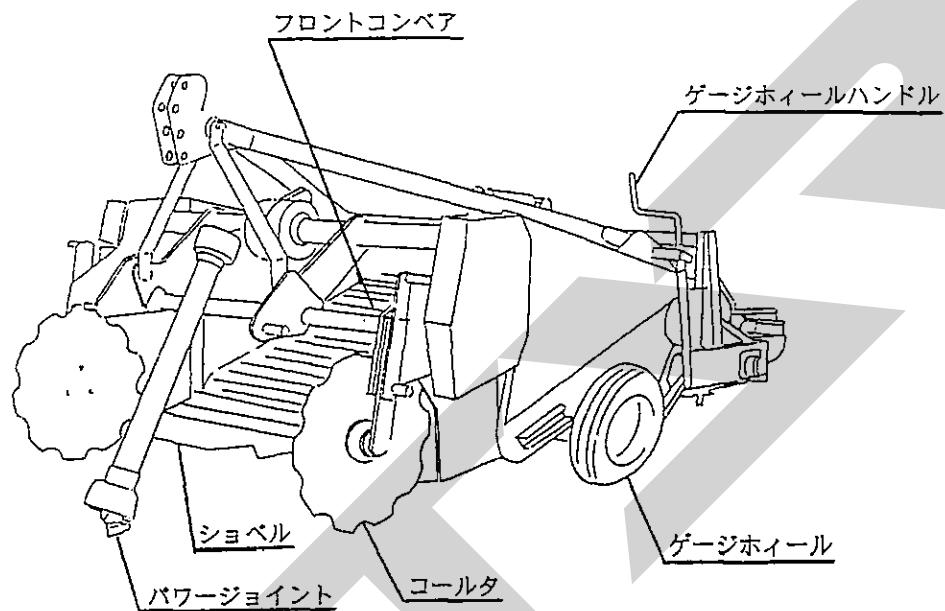
## 6 不調時の対応 ..... 17

## 7 部品表 ..... 18

# 1 トラクタへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

## 1 各部の名称



## 2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を發揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。この製品の適応トラクタ馬力は次のとおりです。

適応トラクタ馬力
40 P s 以上

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがないことがあります。

前輪荷重が確保出来ない時は、フロントウェイトを準備してください。

## 3 組立部品

### 1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

### 2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

### 3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

## 4 トラクタへの装着

### ▲ 警 告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

### ▲ 注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねくことがあります。  
トラクタヘフロントウェイトを取り付け、バランスを取ってください。

(1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのロワーリング先端部と作業機の左右のロワーリング穴の位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。

エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。

(2) 左のロワーリングを連結し、抜けどめにリンクピンをロワーリングピンに差してください。次に、右のロワーリングも同順で行ってください。

(3) 左右のロワーリングが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。

(4) トラクタのエンジンを始動し、トラクタ3点リンクを昇降する油圧レバーを操作して作業機を少し上げ、エンジンを停止してください。

(5) 左右のロワーリングが振り分けになるように、チェックチェーンでセットし、作業機の横振れをなくしてください。

(6) コールタを引き上げ、所定の位置で固定します。

※コールタの位置は「3-2-3 コールタの調節」を参考にしてください。

## 5 パワージョイントの装着

### ▲ 危 險

●カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。

カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。

●カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
損傷したらすぐに取り替えてください。  
使用前には、損傷がないか点検してください。

●トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。  
P T Oを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。

●カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。  
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

## ▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。  
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。  
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。  
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

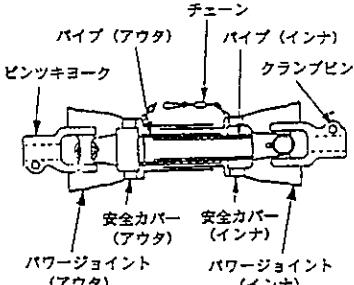
## 1. 長さの確認方法

- (1) パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー(アウタ)端部位置を安全カバー(インナ)にマーキングしてください。
- (2) パワージョイント(アウタ)から、パワージョイント(インナ)を引き抜いてください。
- (3) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- (5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー(アウタ)端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。

オーバーラップ長さ+25mm  
オーバーラップ長さ

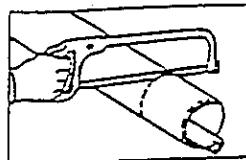


- (6) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (7) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ(アウタ)とパイプ(インナ)の重なり量が100mm以下の場合、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

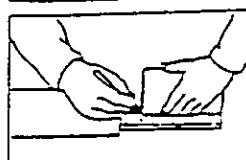


## 2. 切断方法

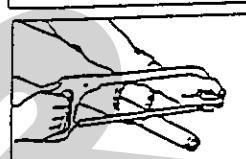
- (1) 安全カバーのアウタとインナ両方を長い分だけ切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプのアウタとインナ両方を金ノコまたはカッタで切断します。



切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、切り粉がパイプ内面に付着するのを防いでください。

- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合せます。

## 3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 安全カバーからチェーンをはずしてください。
- (2) 安全カバーのチューブ側を固定し、ヨーク側カバーを反時計方向に回転してください。
- (3) ヨーク側カバーをチューブ側に押すとヨーク側カバーがはずれます。
- (4) チューブ側カバーをパイプから抜いてください。
- (5) 新しい安全カバーを組み付ける時は逆手順で行ってください。

## 4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

## ▲注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。  
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。

## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

### 1 運転前の点検

#### 1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書にもとづき点検を行ってください。

#### 2. 連結部の点検

##### (1) 3点リンクと3点フレームの連結部点検

- ① ロワーリンク・トップリンクのリンクピン・ベータピンは所定の位置に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。
- ③ 不具合が見つかった時は、「1-4-1 3点リンクへの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

##### (2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。  
損傷している時は、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

##### (3) 製品本体の点検

特に、下記部分はケガの原因になりますので、使用前の点検を習慣にしてください。

- ① 各部のボルト、ナットにゆるみはないか。
- ② コンペアバー取り付けボルトにゆるみはないか。
- ③ 駆動部のローラチェーンにゆるみはないか。
- ④ フロント、リヤコンペアにゆるみはないか。
- ⑤ 各部の給油、注油、給脂は十分か。

### 2 エンジン始動での点検

#### 1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、作業機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常はありません。

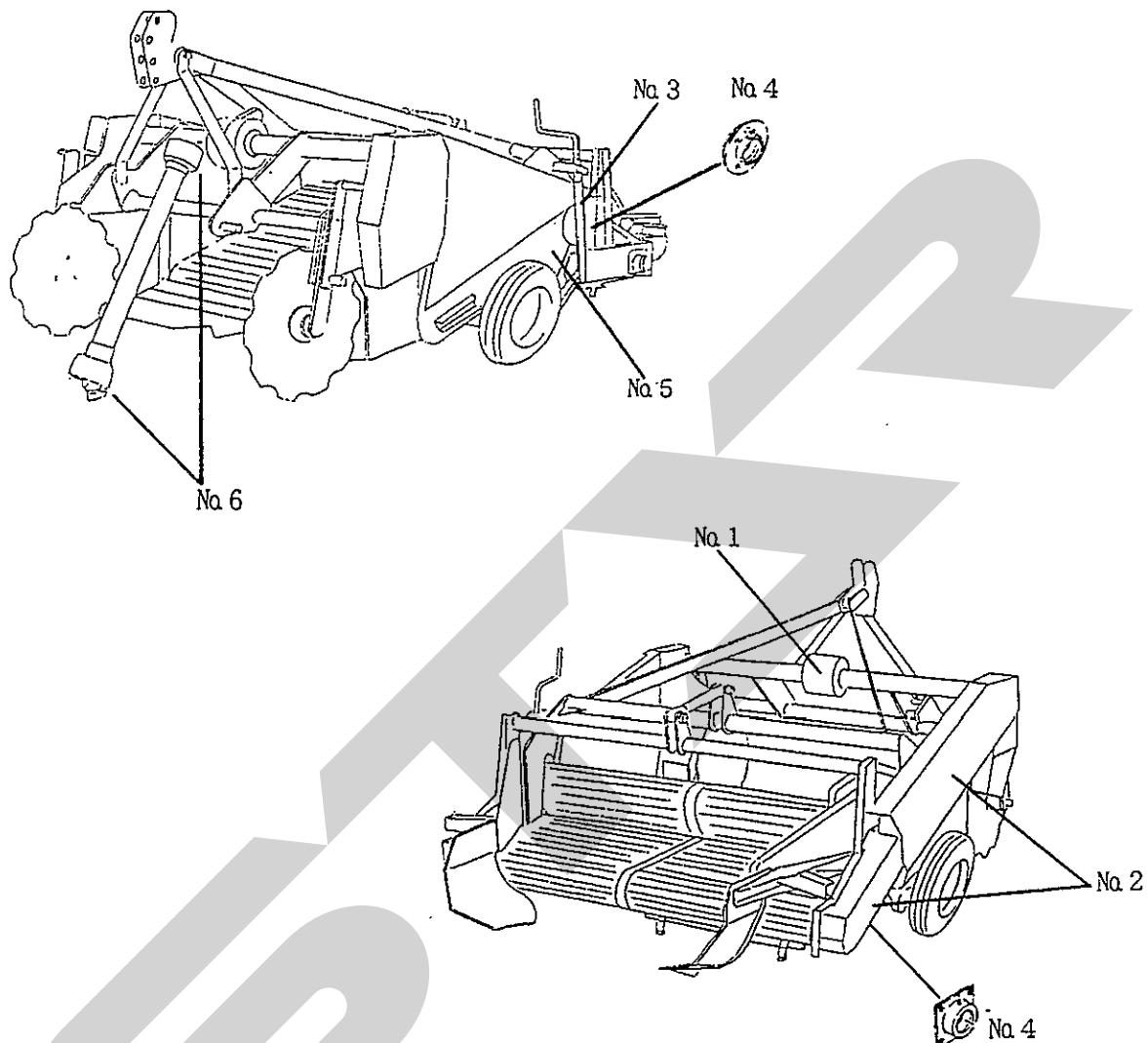
トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタの販売店にご相談ください。

#### 取扱い上の注意

上記以外に異常が見つかった時は、「6. 不調時処置一覧表」に基づき処置してください。

### 3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤボックス	1	グリース#0	シーズン毎	400g	
2	ローラーチェーン	3	オイル	使用ごと	塗布	
3	ゲージホイールハンドルのネジ部	1	"	"	"	
4	フロント、リヤコンベア駆動軸ハウジング	4	グリース	"	適量	グリースニップル
5	アジテータ軸ハウジング	4	"	"	"	"
6	ジョイントスパイダ部	2	"	"	"	"

### 3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

#### 1 本製品の使用目的

本製品は列条に作付けされた馬鈴薯を土と共に堀上げ、土と分離して地表に列条に並べることを目的とした機械です。

これ以外の目的には、使わないでください。

#### 2 作業するための調整

この項では作業に必要な各部の調整について述べますが、各調整の目安は、フロントコンベア上に2／3位まで土が上がり、芋どうしがコンベア上でぶつかり合うことで発生する損傷を最小限になるようにすることです。

##### 1. PTO回転速度と作業速度

本作業機の標準PTO回転速度は350 rpm、作業速度は1～3 km/hです。

土壤、作物の状態に合わせてPTO回転速度、及び作業速度を調節してください。(PTO回転速度が遅い方がコンベア上で作物の踊りが少なくキズは少なくなります。)

##### 2. 堀取り深さの調整

最初3～4m位堀取りを行い、堀残し、芋の損傷度合い及びコンベアへの土の上がり具合を確認し最適深さを選定してください。

堀取り深さとコンベア角度の調整は、トップリンク長さと、ゲージホイールの高さで調節します。

###### (1) トップリンク長さの調節

トップリンク長さを長くすると、ショベル刃先が上がり耕深が浅くなり、短くすると刃先が下がり深く入り込みます。

###### (2) ゲージホイール高さの調節

ゲージホイールの調節は(1)の調節と合わせて行います。

耕深を浅くするときは、トップリンクを長くするのと同時にゲージホイールを下げ、深くするときはトップリンクを短くし、ゲージホイールを上げます。

※ 土壤条件により(1)(2)の調節が追従していないことがあります。その時は「3. コールタの調節」に基づき調整してください。

##### 3. コールタの調節

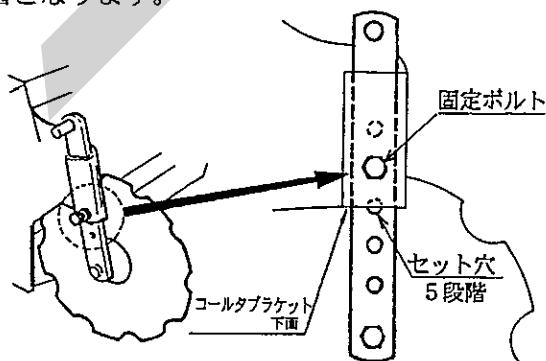
コールタは、茎葉の分離及び土の飲み込みに重要な役割をします。

高さは溝の底から50mm位さるのが目安です。土壤条件によっては「2. 堀取り深さの調整」の際にコールタが抵抗となり、堀取り深さを深くできないことがあります。そのときは、2. の調整と同時に調節してください。

調節範囲は25mmずつ5段階になっています。調節方法は、固定ボルトをゆるめ、セット穴を固定ボルトの位置に合わせ締め付けます。

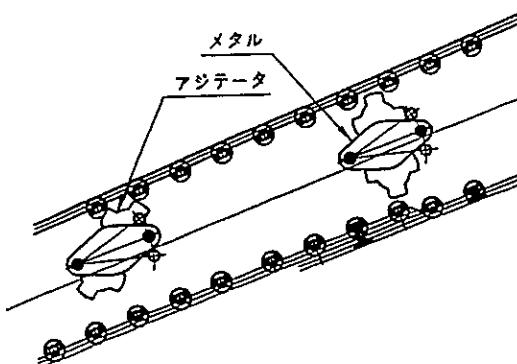
セットしようとする穴から1段下のセット穴がコールタブラケットの下面より半分見える位置に合わせると、固定ボルトとセット穴が一致します。

※ 固定ボルトは必ず完全に締め付けてください。緩みがありますと、コールタが蛇行し破損の原因となります。



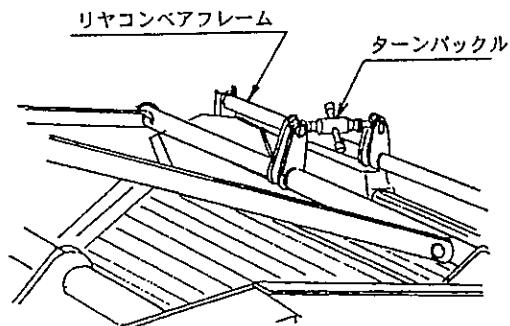
##### 4. アジテータの調節

フロントコンベアに土ふるいとしてアジテータを2ヶ所に装備しています。それぞれにコンベアの距離を調節して振動の強度が変えられるよう3段階の調節穴があります。コンベア上の土の上がり具合を見て調整してください。分離が良すぎる土壤で調整しても土の量が少ないときは、メタルごと取り外してください。



## 5. リヤコンペアの角度調節

コンペアの角度を調整することにより堀取つた芋の落下距離を変えることが出来ます。芋床の形成状態等により適時変えてください。

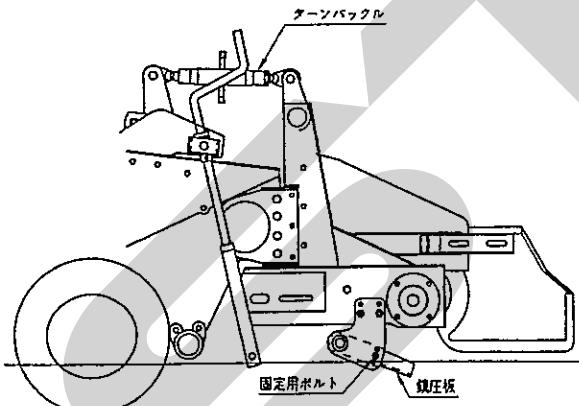


## 6. 鎮圧板の調節

鎮圧板により、コンペアからふるい落とされた土を鎮圧することで拾い易い芋床を形成することができます。

上下2段、角度3段に調節できますので、ほ場条件により適時選択してください。

鎮圧固さはターンバックルの長さで調整します。このターンバックルは、リヤコンペアの角度調整と併用ですので落下距離、鎮圧固さ双方を確認しながら適時選択してください。



## 3 連 撤

### ▲ 警 告

● 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくられるため、周囲の人々に接触し、ケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをすることがあります。  
周囲の人々や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。

● 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。  
路肩は走行しないでください。

● 高低差の大きい段差を乗り越えようとすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをすることがあります。  
あゆみ板を使用してください。

● 作業機の上に人を乗せると、転落しケガをすることがあります。  
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人々へケガを負わせることがあります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。

### ▲ 注意

● 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人々を回転物に巻き込み、ケガを負わせることがあります。  
移動走行する時は、作業機への動力を切ってください。

## 4 作業が終わったら

### 1 トラクタからの外し方

#### ▲ 警告

●作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。  
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

#### ▲ 注意

●作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- (1) トラクタ 3点リンクを昇降する油圧レバーを操作して作業機を上げ、ゲージホイールを最大に下げます。
- (2) コールタの接地面に木材等で台をしてください。  
コールタの破損を防ぐと同時に舗装面への食い込みを防止します。
- (3) トラクタ 3点リンクを最大に下げ、ゲージホイールを接地させエンジンを停止し、主変速レバーを「N」(中立)にしてください。  
トップリンク長さを調整しコールタを台の上で安定させてください。
- (4) トップリンクに力がかかっていないことを確かめてください。  
次にトラクタ右側のアジャストスクリューで左右のロワーリンクにかかっている荷重を取り除きトップリンク、ロワーリンクから外します。  
作業機、トラクタ共に動かないことを確かめパワージョイントを外します。

### 2 作業後の手入れ

#### ▲ 注意

●動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。  
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

- (1) 機械に付着した土、雑草等を取り除いてください。  
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
  - (2) ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。  
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
  - (3) コールタ、ショベル部には、サビを発生させないようにオイルを塗布してください。
- ※ グリースを使用すると、次の作業時に土が付着し、土の飲み込みが悪くなります。
- (4) 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。  
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、P I C軸、パワージョイントのスプライン部にはグリースを塗布してください。
  - (5) 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
  - (6) 格納は風通しの良い屋内に保管してください。
- ※ 本作業機は作物のキズ防止のため各部にゴム部品を多く使用しています。ゴム部品の劣化を防ぐため、特に長期格納時には、よく水洗いし、屋内に格納してください。

## 5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

### 1 点検整備一覧表

#### ▲ 注意

- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。  
トラクタ 3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

### 定期点検一覧表

時 間	チェック項目	処置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットの緩み	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②ギヤボックスのグリース ③部品脱落・破損部 ④各部のボルト・ナットの緩み ⑤各部の油脂類 ⑥駆動ローラチェーンの緩み ⑦フロント、リヤコンペアの張り ⑧タイヤ空気圧	給油 補充、交換 増し締め 「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂
シーズン終了後	①ギヤボックスのグリース ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換  「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

### 2 各部の調整

#### (2) タイヤ空気圧

##### (1) コンペアの張り

固定用ねじ3ヶ所を緩め、調整ねじで行います。調整した後、固定用ねじ3ヶ所は必ず締め付けてください。

タイヤサイズ	空 気 圧
4.80/4.0-4PR	345kPa(3.5kg/cm <sup>2</sup> )

## 6 不調時の対応

### ▲ 注意

- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、作業機が不意に降下し、ケガをする事があります。  
トラクタ 3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTO及びエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

### 1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
フロントコンベア上に 土が少い	①土の飲み込み量不足 ②土分離良すぎる	・ゲージホイールを上げトップリンクを縮める ・車速を上げる ・PTO回転速度を下げる ・フロントコンベアの角度を緩くする ・アジテータの振動を少なくする ・アジテータを外す
フロントコンベア上に 土が多い	①土の飲み込み量が多い ②土分離が悪い	・ゲージホイールを下げトップリンクを伸ばす ・車速を下げる ・PTO回転速度を上げる ・フロントコンベアの角度を急にする ・アジテータの振動を強くする
芋床が軟らかい	①チンアツバンが利いていない	・チンアツバンの位置を下げる ・チンアツバンの角度を強くする ・ターンバックルを伸ばす
芋床が固い	①チンアツバンが利いている	・チンアツバンの位置を上げる ・チンアツバンの角度を弱くする ・ターンバックルを縮める
異音がする	①ローラチェーンが跳んでいる ②コンベアロッドが跳んでいる	・チェーンテンションを張る ・コンベアを張り直す(フロント、リヤ)

# 7 部品表

## 部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ①製品名
- ②部品供給型式（型式）
- ③部品名称（部品表を参照してください。）
- ④部品番号（部品表を参照してください。）
- ⑤個数（部品表を参照してください。）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「①\_付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

例

見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92602	シャフト	①2付
2	ONAS6	グリースニップル;A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) B Z 0 8 1 5 A (G)

  └ (メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付

D ; ナット2個付

N ; ナット付

P ; ワッシャ付

W ; スプリングワッシャ付

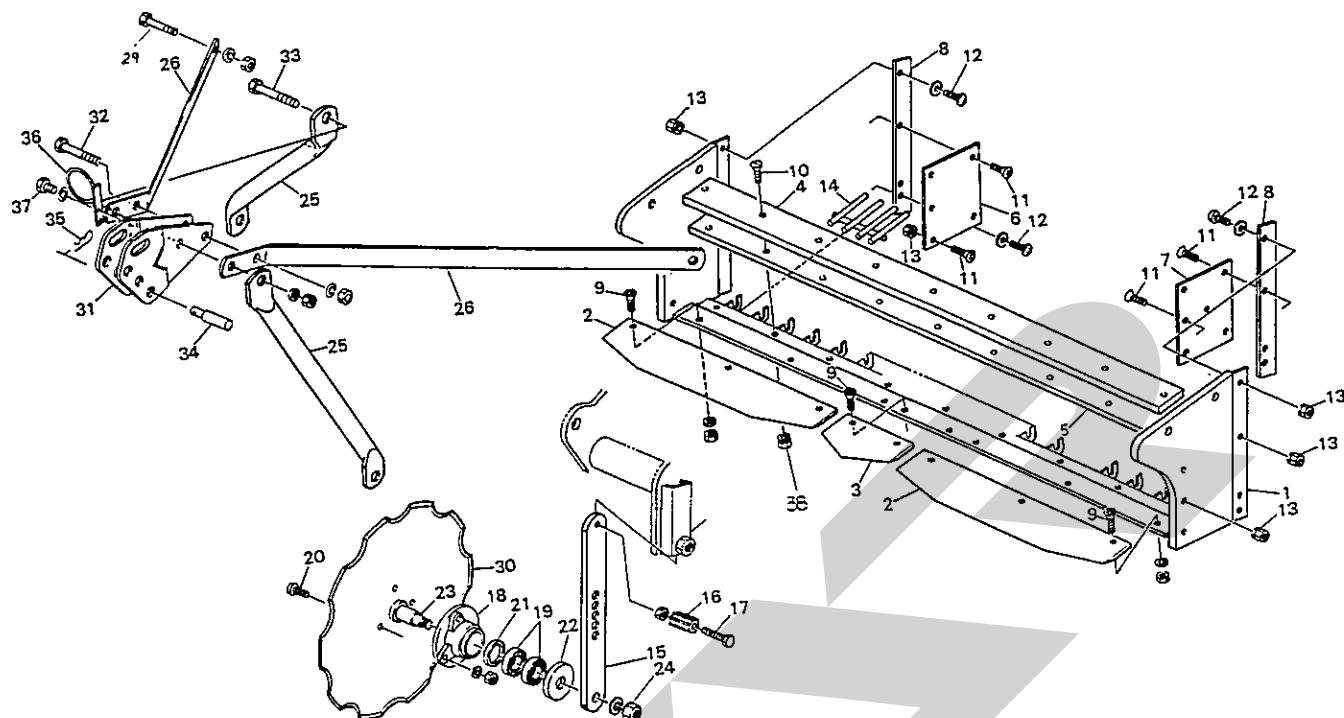
5. 個数欄の 、 は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

## 補修部品の供給年限について

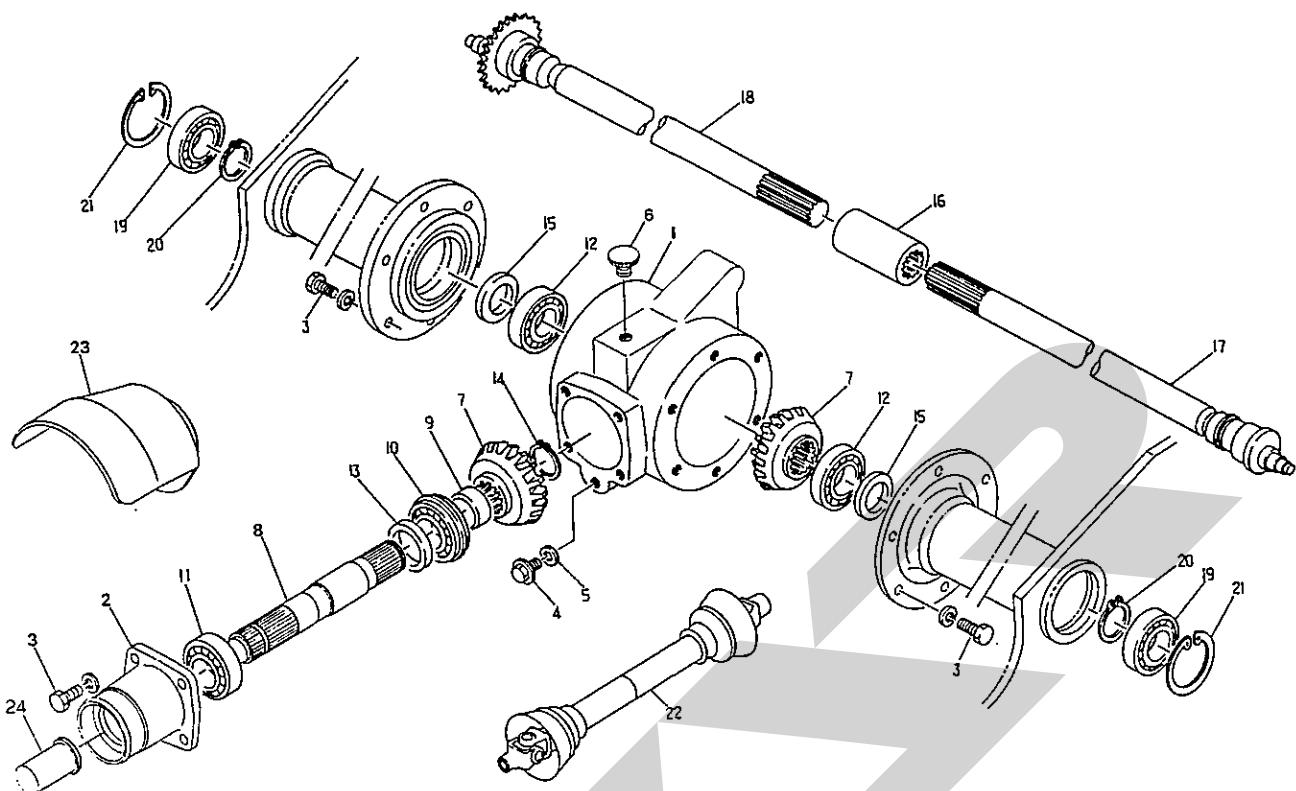
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。



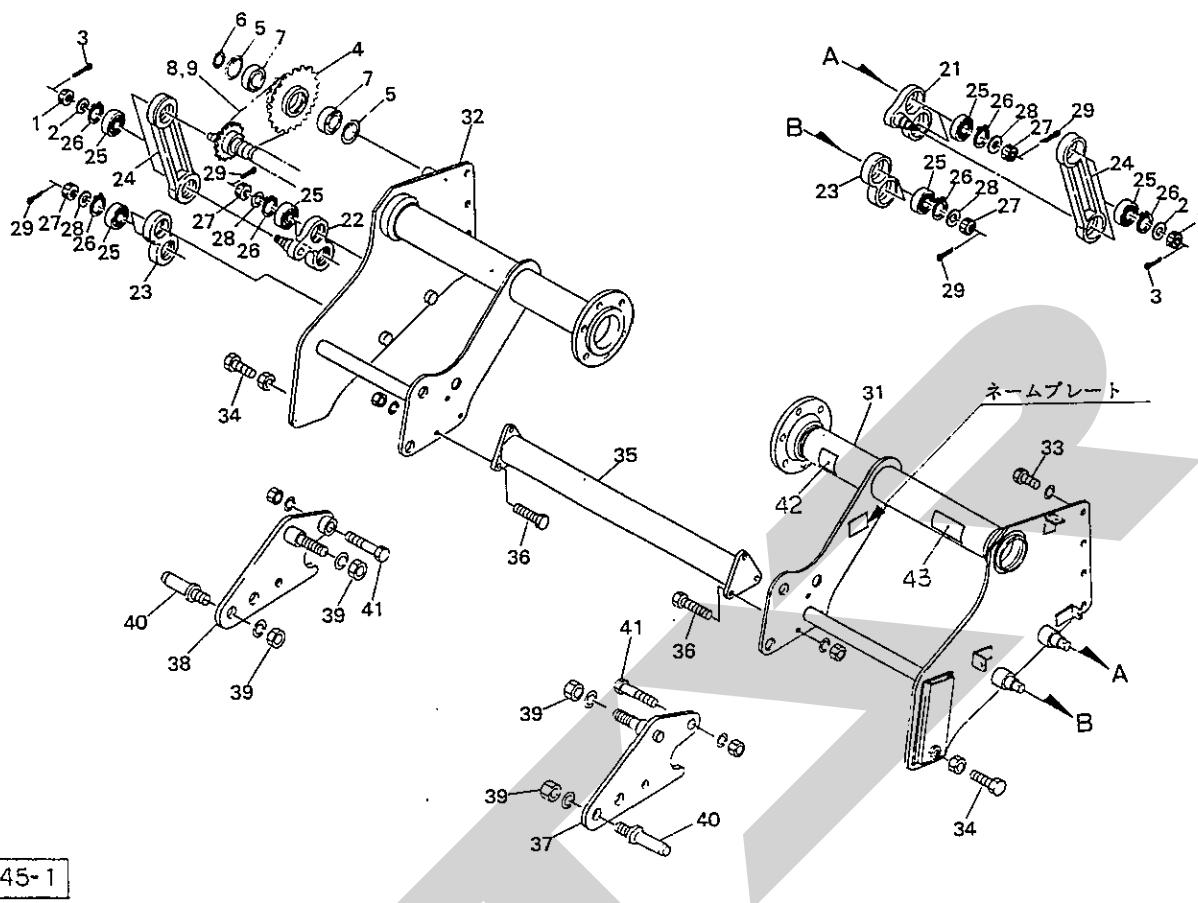
12543-1

部品番号	部品番号	部品名	部品番号	部品番号	部品名	部品番号
1	79528	ショベルサポート	1	26	103631	ストラットステー
2	46443	ショベル；(L)	2	29	BZ1645AG	ボルト；M16×45(8.8)
3	46444	ショベル；セタ(L)	1	30	67563	ローリングコールタ
4	79531	プレート；ジュシ	1	31	103692	トップリンクプラケット
5	79532	プレート；ショベル	1	32	BZ20110AG	ボルト；M20×110(8.8)
6	79533	ショベルソクバンプレート；R	1	33	BZ20130AG	ボルト；M20×130(8.8)
7	79534	ショベルソクバンプレート；L	1	34	00098	トップリンクピン；I・II
8	79535	ゴムプレート	2	35	00088	ベータピン；19×3
9	BJ1025AG	ロッカクアナサラボルト； M10×25	8	36	99693	ホースホルダ
10	BM1040G	サラボルト；M10×40	9	37	BZ0816WG	ボルト；M8×16(8.8)
11	CM0825G	サラコネジ；M8×25	12	38	NP10G	スプリングナット；M10
12	CP0820PG	ナベコネジ；M8×20	4			
13	NP08G	スプリングナット；M8	16			
14	79536	フィンガー	9			
15	79551	コールタアーム	2			
16	24118	グリップ	2			
17	BZ12100NG	ボルト；M12×100(8.8)	2			
18	79552	コールタボス	2			
19	J6206LLU	ペアリング；6206LLU	4			
20	RB1035AG	ボタンボルト；M10×35	6			
21	79553	スペーサ	2			
22	79554	ラビリングスカラー；コ-ルタ	2			
23	79555	シャフト；コ-ルタ	2			
24	NZ20150WG	ナット；M20×1.5(8)	2			
25	86148	ストラット	2			



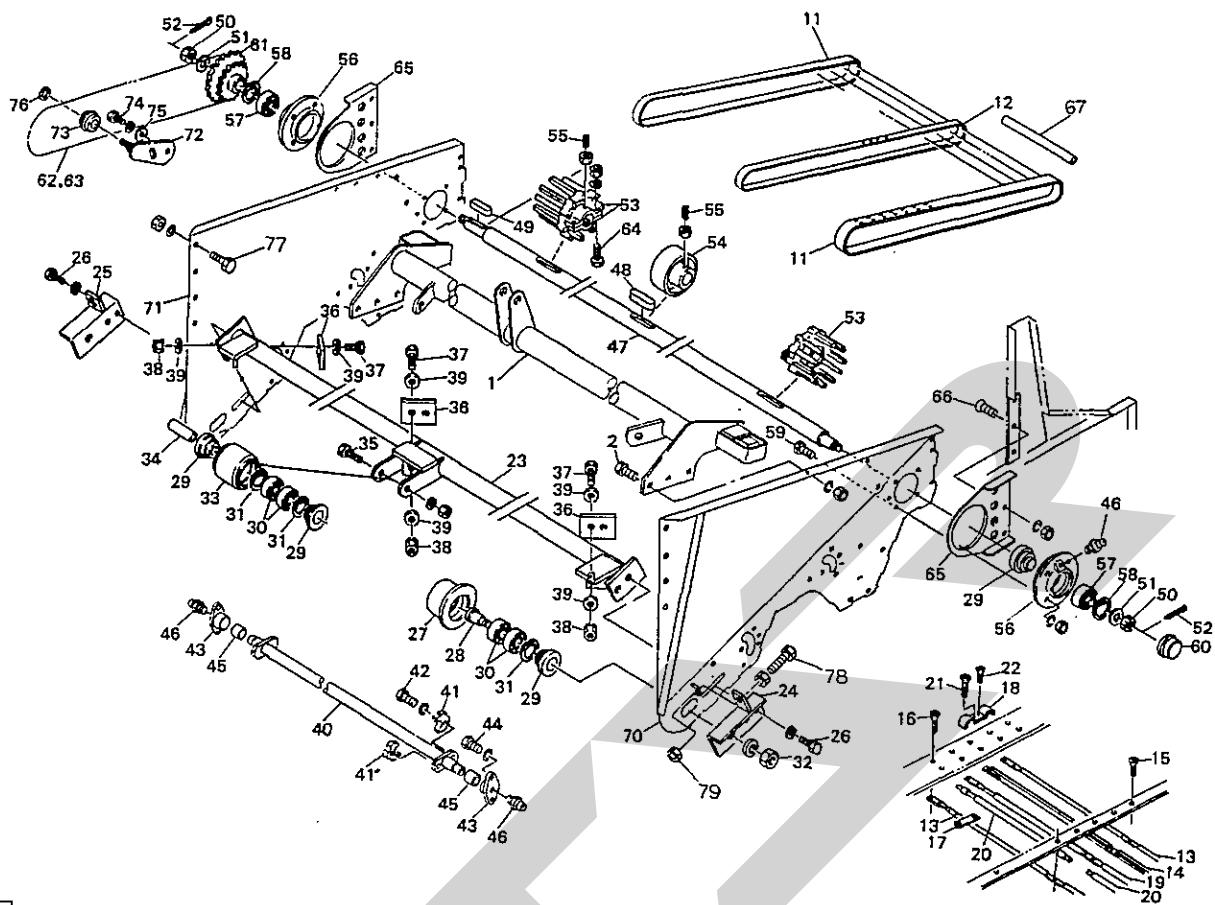
12544

部品番号	部品名称	数	部品番号	部品名称	数
1	ギヤボックス	1			
2	キャップ	1			
3	ボルト ; M10×25(8.8)	16			
4	プラグ ; M10	1			
5	パッキン ; M10	1			
6	チュウユセン ; 23	1			
7	マイタギヤ ; 18T	2			
8	PICシャフト	1			
9	カラー ; ギヤボックス	1			
10	ペアリング ; 6207NR	1			
11	ペアリング ; 6007LLU	1			
12	ペアリング ; 6207	2			
13	オイルシール ; D406210	1			
14	スナップリング ; S35	1			
15	オイルシール ; D356210	2			
16	ジョイント	1			
17	クランクシャフト ; L	1			
18	クランクシャフト ; R	1			
19	ペアリング ; 6208LLU	2			
20	スナップリング ; S40	2			
21	スナップリング ; H80	2			
22	パワージョイント ; SG-060	1			
23	PICカバー	1			
24	PICキャップ	1			



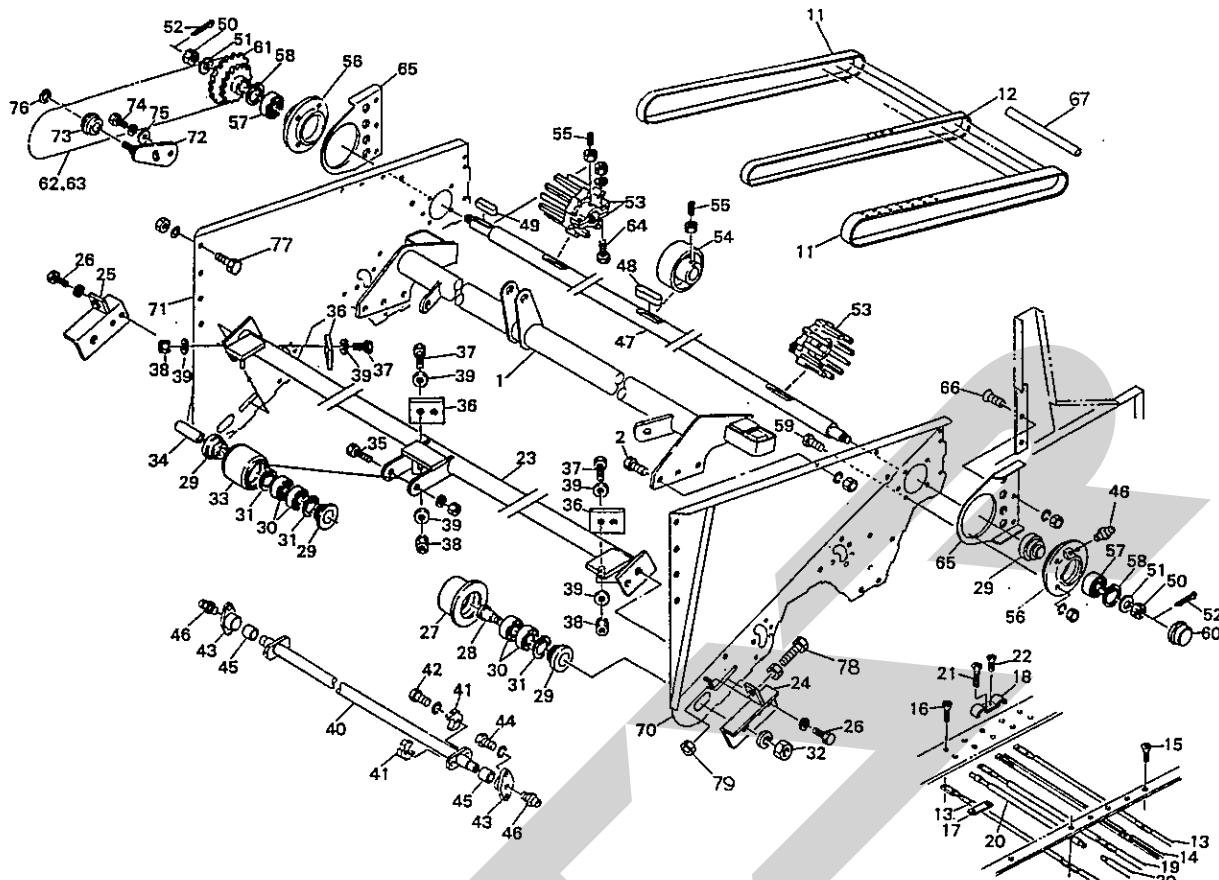
12545-1

販番号	部品番号	部品名称	量	販番号	部品番号	部品名称	量
1	NC1H14150G	キャッスルナット；M14×1.50 (1箇高形)	2	37	103694	ロワーリンク；L	④39付
2	26970	ワッシャ；14	2	38	103698	ロワーリンク；R	④39付
3	PC3220G	ワリピン；3.2×20	2	39	NZ22150WG	ナット；M22×1.5(8)	4
4	103656	スプロケット；18T×30T	1	40	00006	ロワーリンクビン；0 I	④39付
5	DHC55	スナップリング；H55	2	41	BZ2090AG	ボルト；M20×90(8.8)	4
6	DC30	スナップリング；S30	1	42	88975	ラベル；300~500rpm	1
7	J6006LLU	ペアリング；6006LLU	2	43	106164	ラベル；ケイク1	1
8	LA5042	ローラチェーン；50×42 ④9付	1				
9	AA50	ツギテ；50	1				
21	79537	ハウジング；L	1				
22	79539	ハウジング；R	1				
23	77789	ハウジング	2				
24	103646	クランクロッド	2				
25	J6204LLU	ペアリング；6204LLU	12				
26	DHC47	スナップリング；H47	12				
27	NC1H14150G	キャッスルナット；M14×1.50 (1箇高形)	10				
28	26970	ワッシャ；M14	10				
29	PC3220G	ワリピン；3.2×20	10				
31	103658	フレーム；L	1				
32	103659	フレーム；R	1				
33	BZ1025WG	ボルト；M10×25(8.8)	12				
34	BAAZ2065NG	ボルト；M20×65(8.8) 全ネジ	2				
35	86147	ステー	1				
36	BZ1035AG	ボルト；M10×35(8.8)	6				



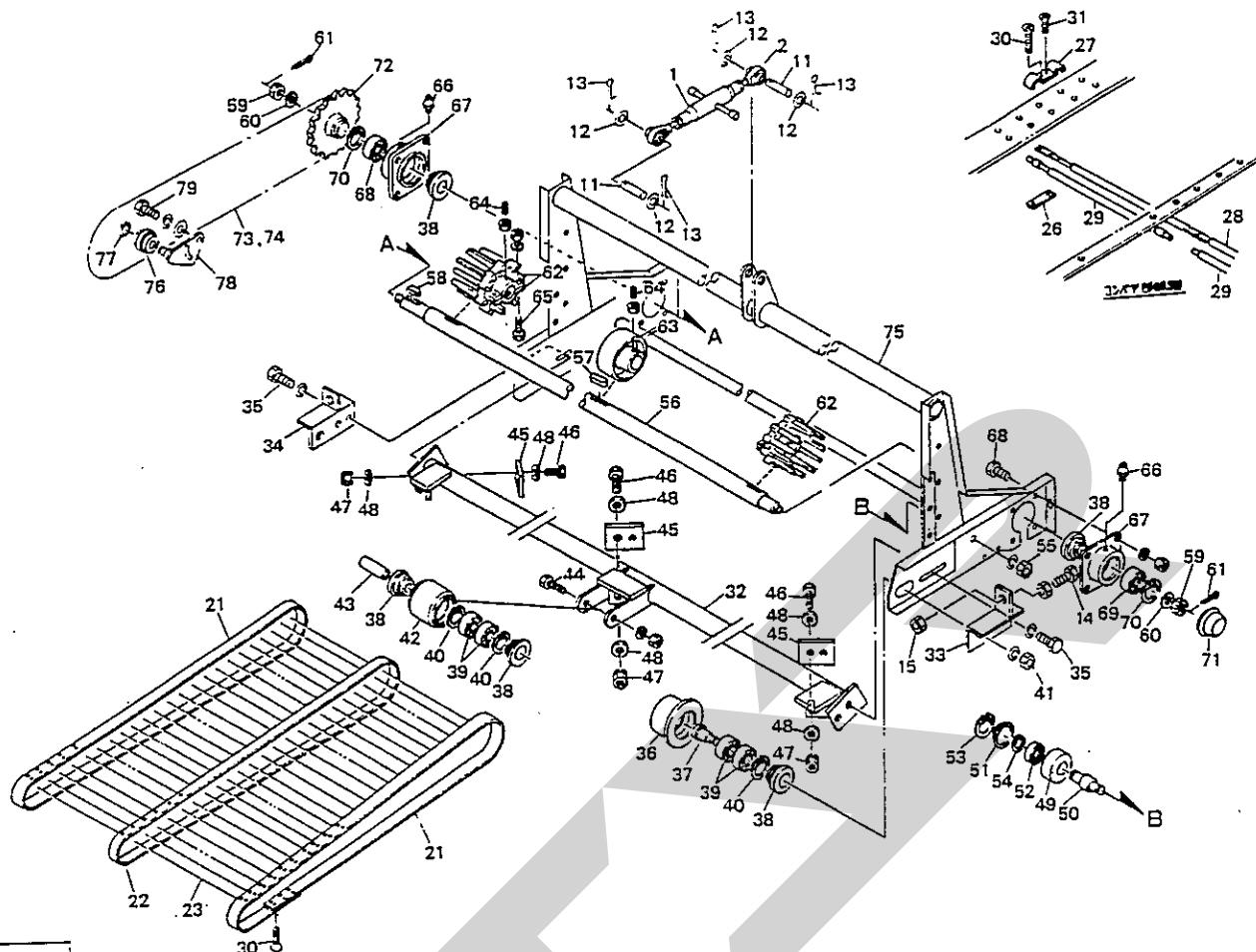
12546-1

見番号	部品番号	部品名称	數	見番号	部品番号	部品名称	數
1	103691	センターピラー	1	33	79654	ローラ；チュウカン	1
2	BZ1230AG	ボルト；M12×30(8.8)	6	34	77854	シャフト；チュウカン	1
11	103649	ベルト；1CN	2	35	BZ1290AG	ボルト；M12×90(8.8)	1
12	103650	ベルト；1CN	1	36	79609	スクレーパ；1CN	3
13	77839	コンペアバー	40	37	BZ0825G	ボルト；M8×25(8.8)	6
14	79600	ラグツキコンペアバー	7	38	NN08G	ナイロンナット；M8	6
15	103647	トクシュサラボルト；13	225	39	WRA08G	ワッシャ；M8	12
16	103648	トクシュサラボルト；21	15	40	103701	アジテータシャフト	2
17	91961	プレート	4	41	103702	アジテータ	8
18	91962	ドロップリンクプレート	4	42	BZ1040WG	ボルト；M10×40(8.8)	8
19	91963	ドロップリンクタイン	1	43	103657	ジクウケ	4
20	91964	ドロップリンクバー	2	44	BZ0816WG	ボルト；M8×16(8.8)	8
21	BJ0620G	ロッカクアナサラボルト；M6×20	4	45	KBB-2025	カーボンドライベアリング；KBB-2025	4
22	BJ0612G	ロッカクアナサラボルト；M6×12	4	46	ONCS6	グリースニップル；C-M6×1F	6
23	79605	ステー	1	47	79612	シャフト；Fクトウ	1
24	79606	ブラケット；L	1	48	KFC10080550	キー；10×8×55(歯)	1
25	79607	ブラケット；R	1	49	KFB08070400	キー；8×7×40(歯)	1
26	BZ1035WG	ボルト；M10×35(8.8)	4	50	NC2L20150G	キャッスルナット；M20×1.5 (2歫形)	2
27	79653	ローラ；Φ90	2	51	75318	ザガネ	2
28	79608	シャフト；1CN(ジュウドウ)	2	52	PC3220G	ワリピン；3.2×20	2
29	79655	ラビリングスカラー	5	53	79613	ローラ；クトウ	2
30	J6006LLU	ペアリング；6006LLU	6	54	79614	ローラ；Φ115クトウ	1
31	DHC55	スナップリング；H55	4	55	MD0820N	ロッカクアナトメネジ；M8×20	3
32	NZ20150WG	ナット；M20×1.5(8)	2				

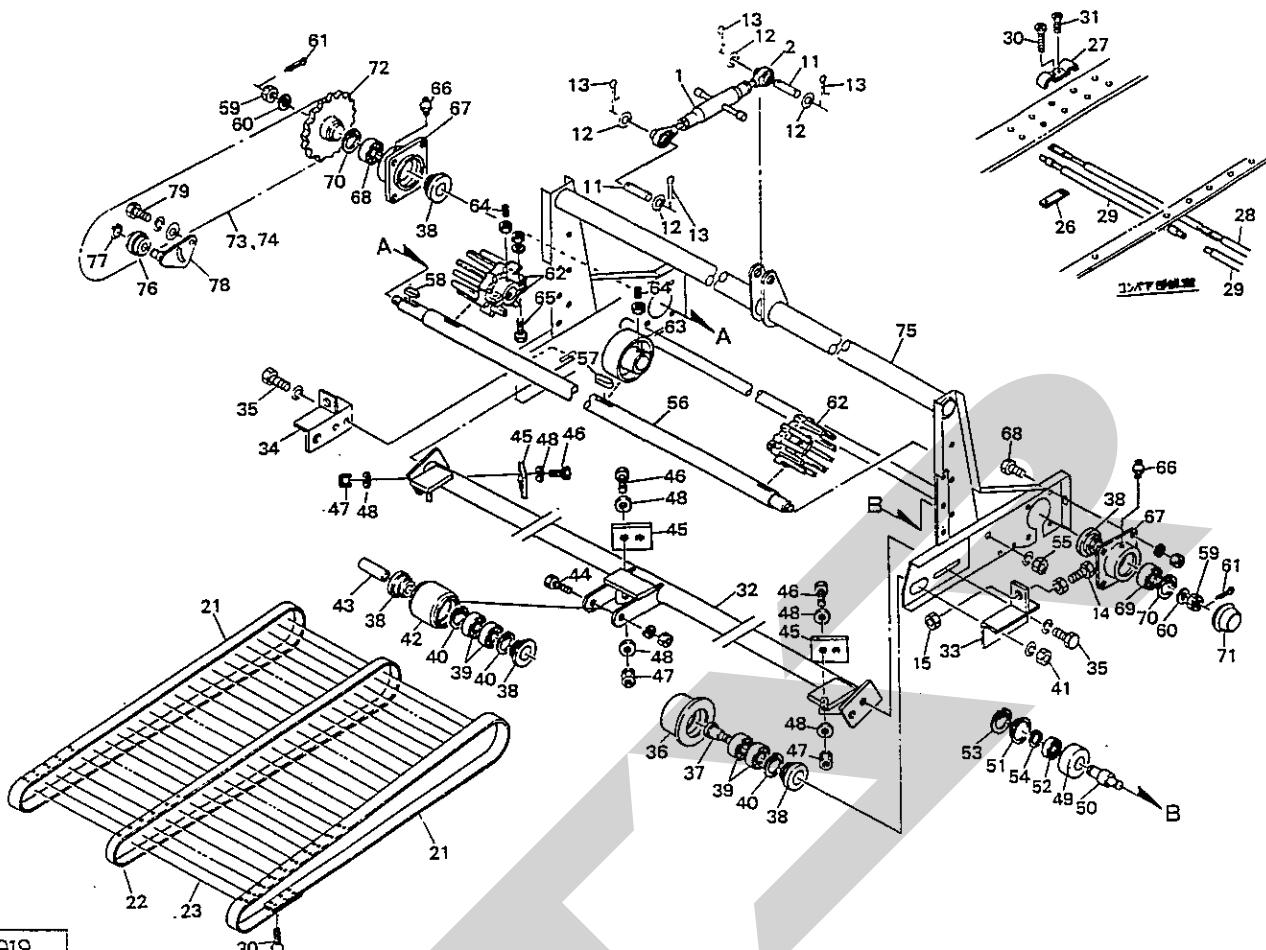


12546-1

部品番号	部品番号	部品名	部品番号	部品番号	部品名	部品番号
56	103645	ハウジング ; 1CONケドウ	2			
57	J6206LLU	ペアリング ; 6206LLU	2			
58	DHC62	スナップリング ; H62	2			
59	BZ0835AG	ボルト ; M8×35(8.8)	8			
60	00415	キャップ ; 62	1			
61	103703	スプロケット ; 28T×20T	1			
62	LA50146	ローラチェーン ; 50×146(63付)	1			
63	AA50	ツギテ ; 50	1			
64	BZ1045AG	ボルト ; M10×45(8.8)	4			
65	103704	ブラケット	2			
66	BJ1030AG	ロッカクアナサラボルト ; M10×30	6			
67	81753	チューブ MPD2061	34			
70	103660	ソクバン ; L	1			
71	103661	ソクバン ; R	1			
72	61993	テンションアーム	1			
73	81267	テンションローラ	1			
74	BZ1025WG	ボルト ; M10×25(8.8)	2			
75	44098	ワッシャ ; 10	1			
76	DC17	スナップリング ; S17	1			
77	BZ1635AG	ボルト ; M16×35(8.8)	8			
78	BAAZ1080G	ボルト ; M10×80(8.8) 全社	2			
79	NZ10G	ナット ; M10(8)	4			

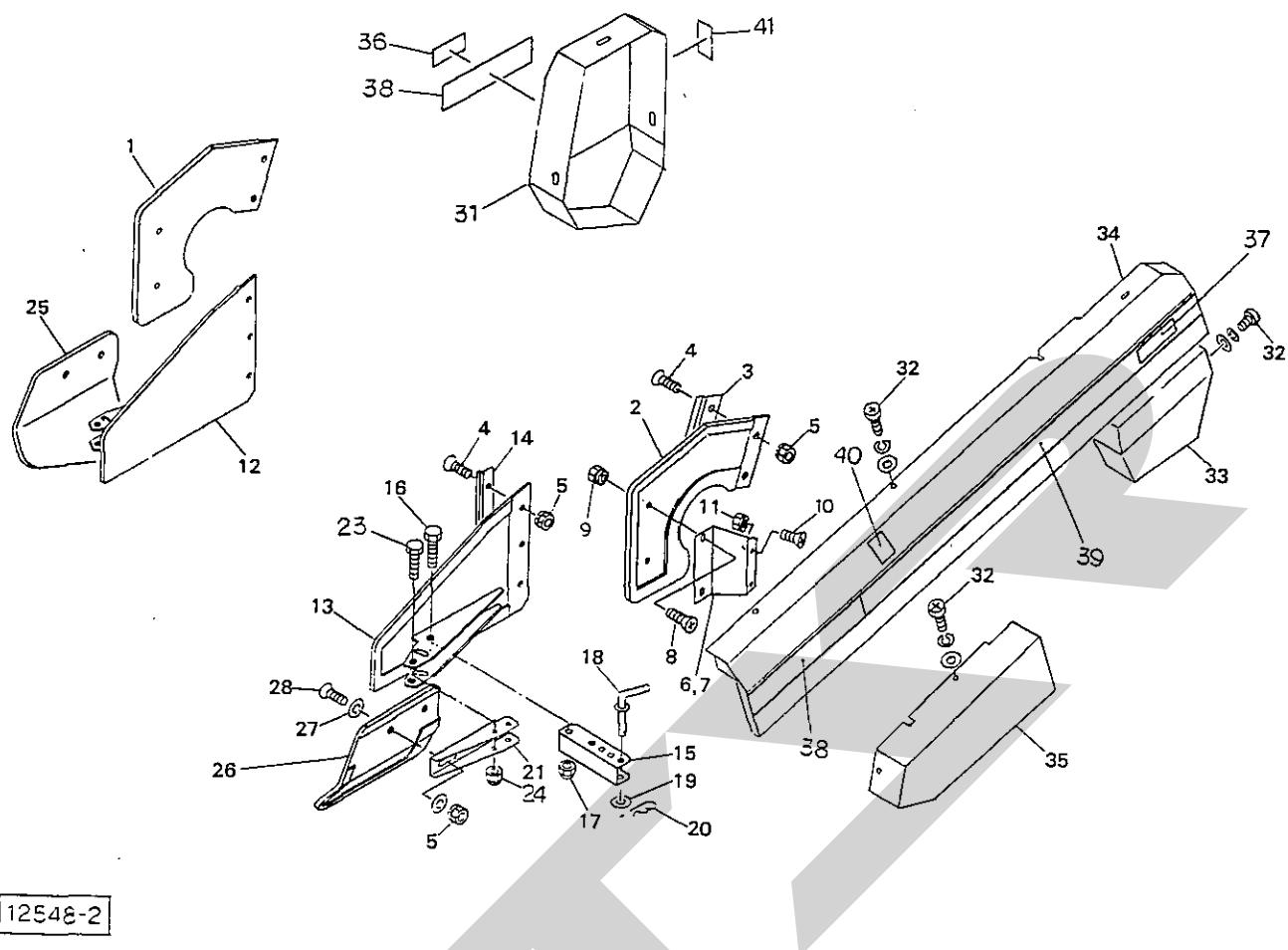


部品番号	部品名称	量	部品番号	部品名称	量
1	106691	1	39	J6006LLU	6
11	79070	1	40	DHC55	2
12	62908	1	41	NZ20150WG	2
13	PC4032G	1	42	79654	1
14	BAAZ1080G	1	43	77854	1
15	NZ10G	1	44	BZ1290AG	1
21	105944	1	45	79609	3
22	105945	1	46	BZ0825G	6
23	79622	1	47	NN08G	6
24	103647	1	48	WRA08G	12
25	103648	1	49	77861	2
26	91961	1	50	77862	2
27	91962	1	51	67030	2
28	91963	1	52	J6204LLU	2
29	91964	1	53	DHC47	2
30	BJ0620G	1	54	DC20	2
	ロッカクアナサラボルト； M6×20	4	55	NZ16WG	2
31	BJ0612G	1	56	79630	1
	ロッカクアナサラボルト； M6×12	4	57	KFC10080550	1
32	79605	1	58	KFB08070200	1
33	79606	1	59	NC2L20150G	2
34	79607	1	60	75318	2
35	BZ1035WG	1	61	PC3232G	2
36	79653	1	62	79613	2
37	79608	1	63	79614	1
38	79655	1			



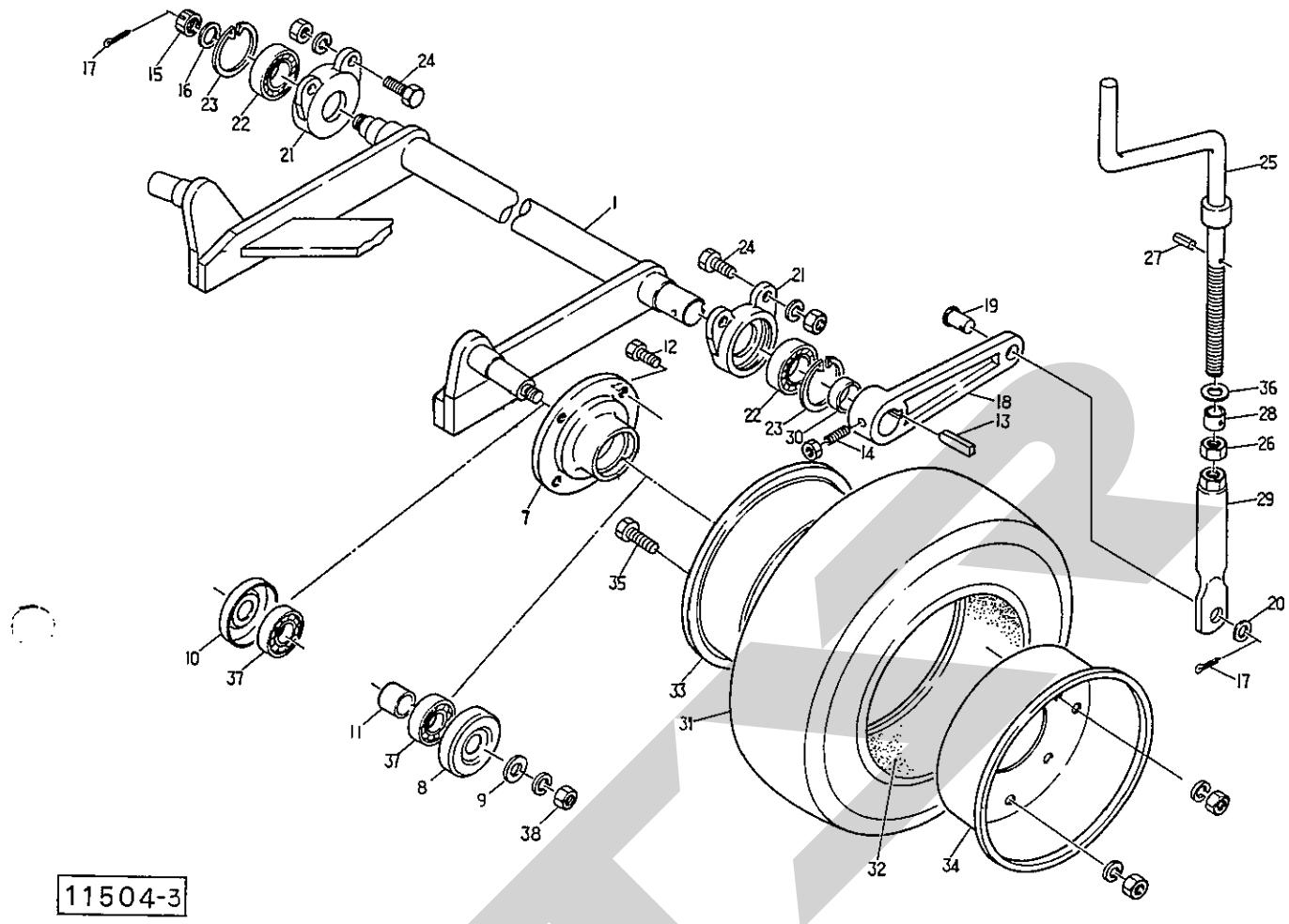
12919

見出番号	部品番号	部品名称	量	見出番号	部品番号	部品名称	量
64	MD0820N	ロッカクアナトメネジ； M8×20	3				
65	BZ1045AG	ボルト； M10×45 (8. 8)	4				
66	ONAS6	グリースニップル； A-M6×1F	2				
67	79616	ハウ징	2				
68	BZ0825AG	ボルト； M8×25 (8. 8)	8				
69	J6206LLU	ペアリング； 6206LLU	2				
70	DHC62	スナップリング； H62	2				
71	00415	キャップ； 62	1				
72	103703	スプロケット； 19T	1				
73	LD5081	ローラチェーン； 50×81 ④74, 80付	1				
74	AA50	ツギテ； 50	1				
75	103705	リヤコンベアフレーム	1				
76	81267	テンションローラ	1				
77	DC17	スナップリング； S17	1				
78	103726	テンションプラケット	1				
79	BZ1020AG	ボルト； M10×20 (8. 8)	2				
80	AD50	1ピッチオフセット	1				



12548-2

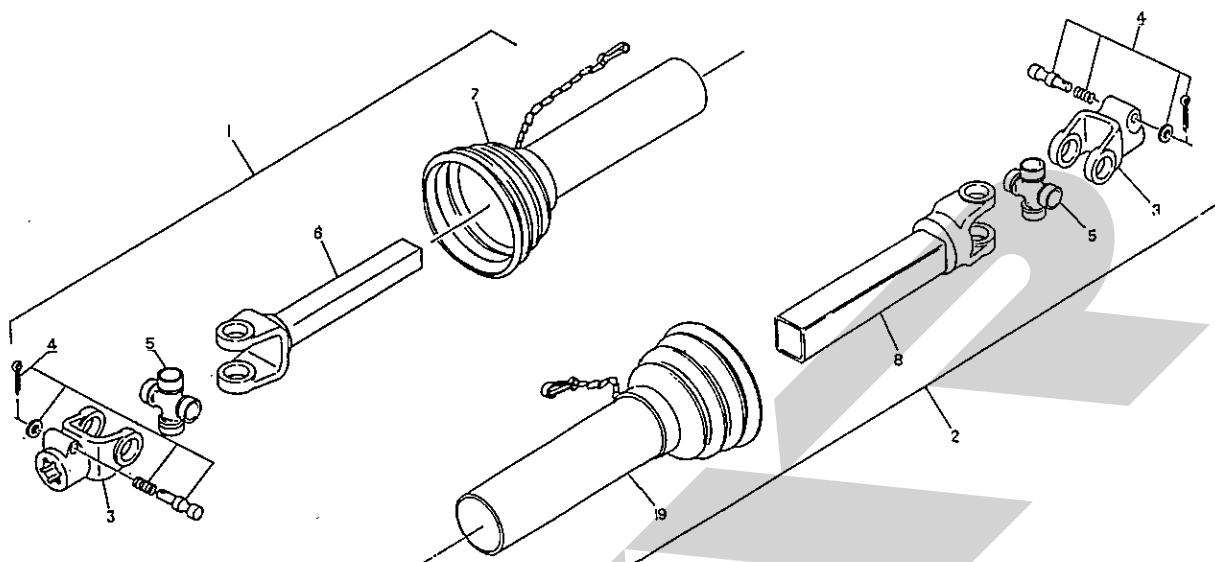
見出番号	部品番号	部品名称	數	見出番号	部品番号	部品名称	數
1	103706	サイドプレート；FL	1	28	BM1030PG	サラボルト；M10×30	4
2	103707	サイドプレート；FR	1	31	103634	カバー；L	1
3	79586	プレート；サイドカバ-	2	32	CR0816PWG	ジュウジアナマルコネジ ；M8×16	12
4	BM1030G	サラボルト；M10×30	10	33	103635	カバー；R	1
5	NP10G	スプリングナット；M10	14	34	103636	カバー；サイド	1
6	103708	ブラケット；L	1	35	103717	カバー；リヤ	1
7	103709	ブラケット；R	1	36	00835	STARマーク（白）；31.5	1
8	CM0825G	サラコネジ；M8×25	4	37	00836	STARマーク（白）；40	1
9	NP08G	スプリングナット；M8	4	38	94323	ラベル；ストライプ 90×350	2
10	CM0625PG	サラコネジ；M6×25	4	39	79264	ラベル；ストライプ 90×1050	1
11	NP06G	スプリングナット；M6	4	40	106171	ラベル；ケイク8	1
12	47884	サイドプレート；RL	1	41	106494	ラベル；ケイク80	1
13	47885	サイドプレート；RR	1				
14	103712	プレート	2				
15	103713	チャンネル	2				
16	BZ1280G	ボルト；M12×80(8.8)	2				
17	NN12G	ナイロンナット；M12	2				
18	67724	ピン	2				
19	WRA12G	ワッシャ；M12	2				
20	00086	ベータピン；12×2	2				
21	103714	チャンネル	2				
23	BZ1030PG	ボルト；M10×30(8.8)	8				
24	NP10G	スプリングナット；M10	8				
25	113202	イモウケ；L	1				
26	113203	イモウケ；R	1				
27	67737	ワッシャ	4				



11504-3

品番	部品番号	部品名称	量	品番	部品番号	部品名称	量
1	87258	ゲージホイールアーム	1	30	81268	カラー	1
7	00519	ハブ	2	31	00511	タイヤ；4.80/4.00-8-4PR	2
8	00763	キャップ	2	32	57679	チューブ；4.00-8	2
9	72968	ワッシャ；14	2	33	00446	ホイール；3.00D-8DT	2
10	76507	キャップ	2	34	00447	ホイール；3.00D-8DT	2
11	00520	カラー	2	35	BZ0816AG	ボルト；M8×16(8.8)	8
12	BZ1030AG	ボルト；M10×30(8.8)	8	36	72860	ワッシャ	1
13	KFB10080450	キー；10×8×45(片)	1	37	J6205LLU	ペアリング；6205LLU	4
14	MD1020N	ロッカクアナトメネジ； M10×20	1	38	NZ14WG	ナット；M14(8)	2
15	NC2L20150G	キャッスルナット；M20×1.5 (2個)	1				
16	75318	ザガネ	1				
17	PC3232G	ワリピン；3.2×32	2				
18	79579	アーム	1				
19	79663	ピン	1				
20	WRA16G	ワッシャ；M16	1				
21	79580	ジクウケ	2				
22	J6006LLU	ペアリング；6006LLU	2				
23	DHC55	スナップリング；H55	2				
24	BZ1240AG	ボルト；M12×40(8.8)	4				
25	103699	ハンドル	1				
26	NZ20G	ナット；M20(8)	1				
27	PS8032	スプリングピン；8×32	1				
28	79582	カラー	1				
29	103700	ロッド	1				





00074-1

部品番号	部品名称	量	部品番号	部品名称	量
ASY	パワージョイント; SG-060	1			
1	00613-1 パワージョイント; SG-060	1			
2	00613-2 パワージョイント; SG-060	1			
3	00595 ピンツキヨーケ; S (見付)	2			
4	00583 クランプピン; 14	2			
5	00587 スパイダ; S	2			
6	00613-3 パイプツキヨーケ(イン) ; SG-060	1			
7	00613-4 アンゼンカバー(イン) ; SG-060	1			
8	00613-5 パイプツキヨーケ(アウト) ; SG-060	1			
9	00613-6 アンゼンカバー(アウト) ; SG-060	1			

本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2  
TEL 0123-26-1123  
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8550 千歳市上長都1061番地2  
TEL 0123-22-5131  
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番31号  
TEL 0166-61-6131  
FAX 0166-62-8985

豊富出張所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地  
TEL 0162-82-1932  
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地  
TEL 0155-37-3080  
FAX 0155-37-5187

北見出張所 090-0001 北見市小泉302  
TEL 0157-24-3880  
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2  
TEL 01537-2-2624  
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1  
TEL 0198-26-5741  
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号  
TEL 022-367-4573  
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1  
TEL 0285-49-1500  
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191  
TEL 0587-93-6888  
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笛賀5824-5  
TEL 0263-26-5731  
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103  
TEL 086-243-1147  
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号  
TEL 096-381-7222  
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1  
TEL 0986-38-1045  
FAX 0986-38-4644